**注）本頁は、申請書の表紙（１頁目）です。**

様式１

（リサイクル事業）

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

秘

　　　　　　資源循環技術・システム表彰申請書（奨励賞）

注）奨励賞にご応募の場合にのみ付記してください。↑

平成　　年 月 日

一般社団法人産業環境管理協会　御中

|  |  |
| --- | --- |
| （ふりがな）①会社名又は事業所名 |  （印） |
| ②〒、所在地、電話番号 |  |
| （ふりがな）③代表者　役職、氏名 |  　 （印） |
| ④資本金又は基本財産 |  百万円 |  ⑤従業員数 |  人 |  ⑥出荷額 |  　　　 百万円／年 |
| （ふりがな）⑦連絡者　所属部署、役職、氏名、住所、電話番号、FAX番号、〒、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 　　　　　　　　　　　　　　　　電 話　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail 〒、住所*（②の〒所在地と同じ場合は省略可）* |
| ⑧申請テーマ名（ふりがな）*（申請内容を端的に表現する**テーマ名を付けてください）* |  |
| ⑨リサイクル対象廃棄物名 |  |  ⑩リサイクル対象 　廃棄物の取扱量 |  ｔ／年 |
| ⑪リサイクル品名*（商品名で**はなく一般名とすること）* |  |  ⑫リサイクル製品の 生産量 |  ｔ／年 |
| ⑬リサイクル製品の販売量 |  　ｔ／年 |  ⑭リサイクル製品の 　販売額（自社利用 　の場合は評価額） |  　　 万円／年 |
| ⑮リサイクル事業の開始年月 |  |  ⑯リサイクル事業の 継続年数 |  |
| ⑰本制度に係る過去の表彰　実績*（受賞年度、賞の種類*） |  |  ⑱他の制度による 過去の表彰実績（*名称、受賞年度，**賞の種類）* |  |
| ⑲所属団体名 |  |  ⑳本表彰の募集を何 　で知りましたか  *（具体的に）* |  |
| 申請内容、関連事項の公表実績*（ホームページ名称・URL、出版物名等）* |  |

**注）本頁は、本文（２頁目以降）の記述要領の説明です。**

**以下の項目について、申請テーマの事業内容とその特徴を記述ください。**

**該当なしの場合は、「該当なし」と記述ください。**

**また、追加項目があれば、追加ください。**

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

**本文の構成**

１．要旨

２．廃棄物について

注）廃棄物の名称、どこから出る廃棄物か、廃棄物の数量、形態、特徴等（図絵等を用いて記述）

３．リサイクル事業実施以前の処理方法

従来一般的に採用されている処理・処分・リサイクル方法等（図絵等を用いて記述）

４．リサイクル事業の実施内容

 (1) リサイクル工程の説明

注）フローシート、図絵等を用いて記述

　(2) リサイクル製品の生産量推移（平成２４年～２８年）

　(3) 技術・システムのポイント、新規性、改善点、同種事業との相違点

注）図絵等を用いて記述　**⇒**　**重要**

　(4) 特許等の有無

　(5) 保有設備の性能等

　(6) リサイクル事業のコスト計算（原料廃棄物の輸送費、副資材費、動力燃料費、減価償却費、設備保全費、人件費、その他）

５．リサイクル事業実施による効果

　(1) 廃棄物の減量効果

　(2) 省資源・省エネルギー効果

　(3) 環境保全効果、ＣＯ2削減効果

　(4) 経済効果

　　① 自社の廃棄物をリサイクルする場合

　　② 他者の廃棄物をリサイクルする場合

　(5) 波及効果

　(6) その他の効果

６．リサイクル製品の市場性

　(1) リサイクル製品の特徴、形状、品質、安全性・無害性等

　(2) バージン原料製品との比較

　(3) リサイクル製品の販売方法

７．原料廃棄物の安定確保策

　(1) 原料廃棄物の安定確保策

(2) 廃棄物の引取条件

８．二次公害防止のための対策

　(1) 二次廃棄物の発生・処理・処分状況

　(2) 二次公害防止のための対策

９．リサイクル事業の動向

　(1) 事業運営上の問題点と対応策

(2) 将来構想